

第7期 練馬区高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画

施策⑤認知症高齢者への
支援の充実

参考資料

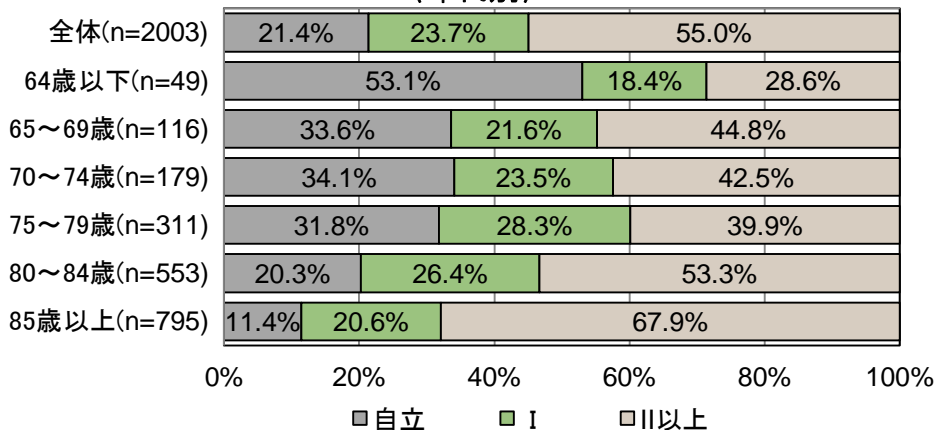
平成29年4月26日

参考データ

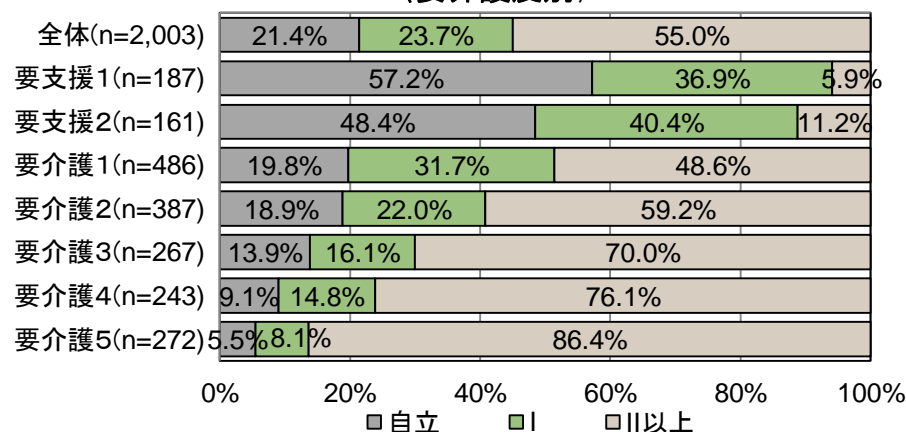
要介護認定者に占める認知症の症状がある人の割合

※「自立」認知症の症状のない方 「I」何らかの認知症の症状のある方 「II以上」見守り等の何らかの介護の支援が必要な方
 ・要介護認定者の約8割に何らかの認知症の症状があり、5割強の方は何らかの介護の支援が必要

〈年代別〉



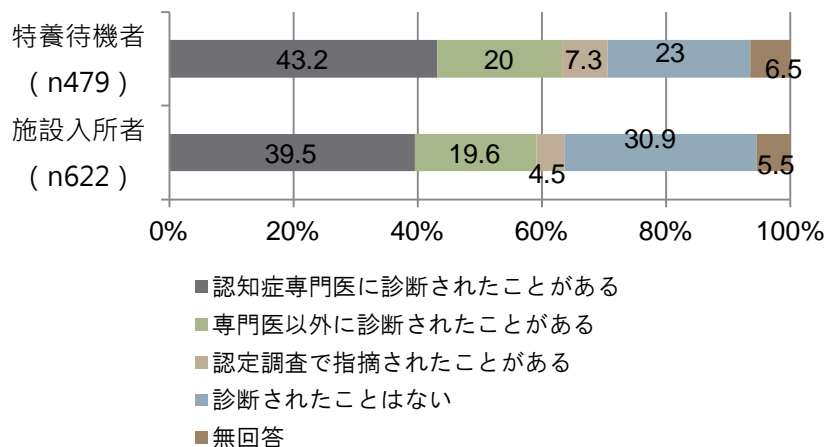
〈要介護度別〉



出典：平成28年12月要支援・要介護認定審査分を分析し作成

認知症の診断状況

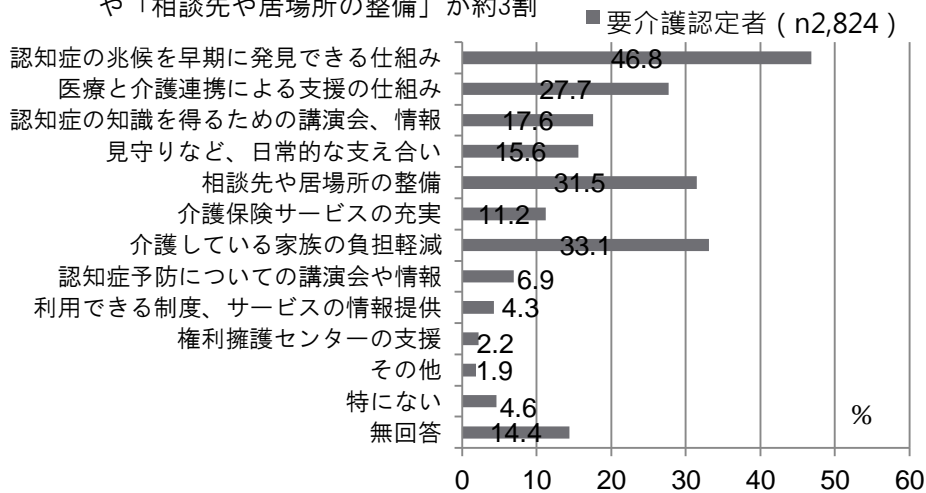
・特養待機者と施設入所者の約6割は医師に診断されている



出典：平成28年度練馬区高齢者基礎調査

認知症施策で必要なこと

・「早期発見の仕組み」をあげる方が約5割、「家族の負担軽減」や「相談先や居場所の整備」が約3割

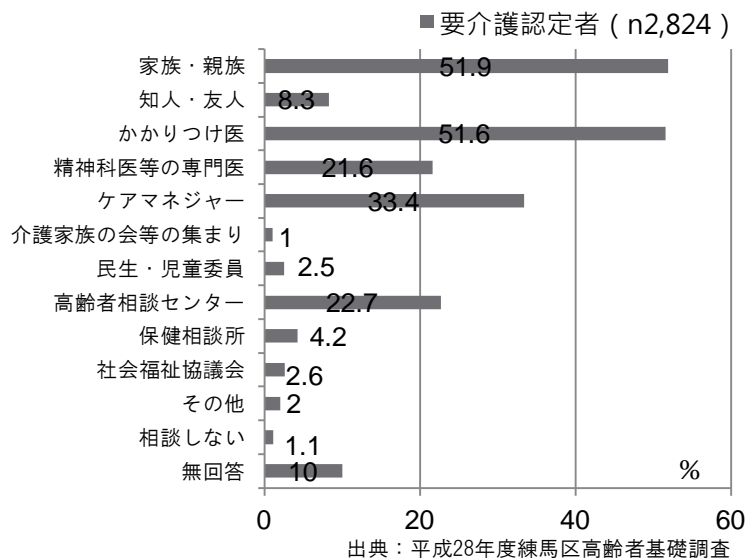


出典：平成28年度練馬区高齢者基礎調査

参考データ

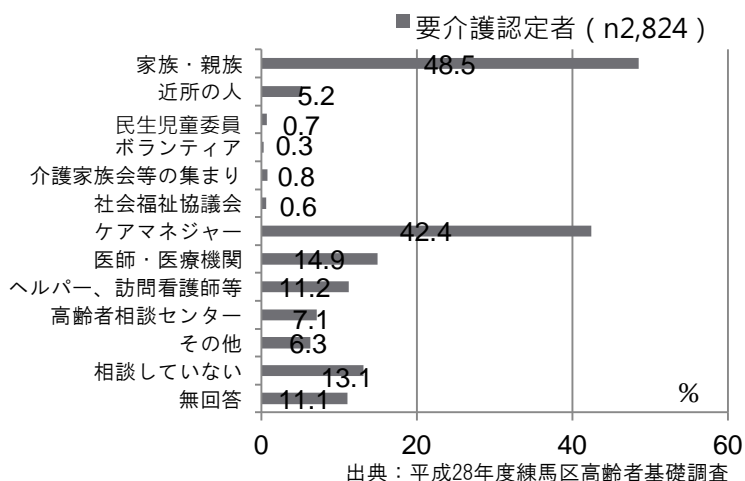
認知症の相談先

・家族・親族、かかりつけ医が5割強



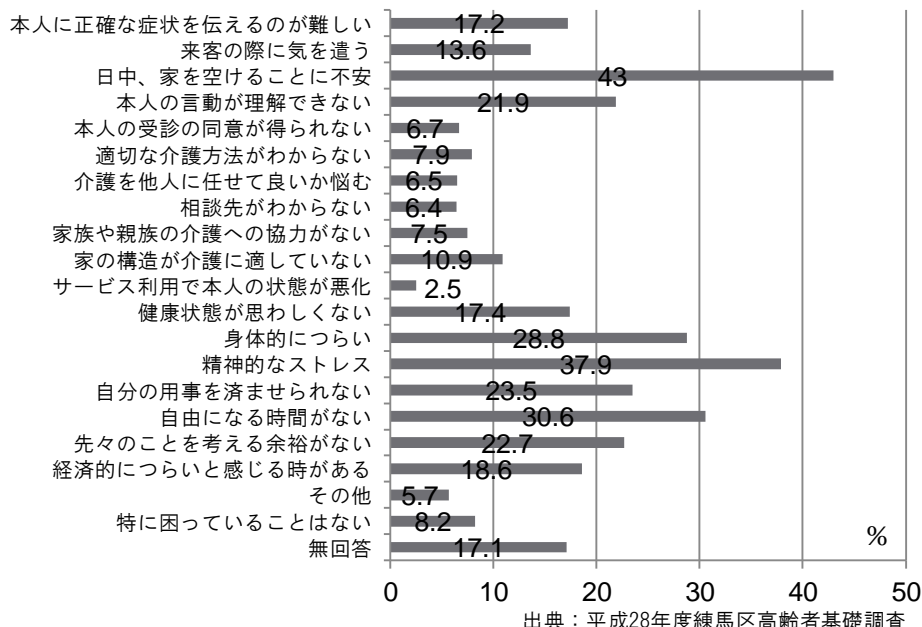
介護をしていてつらいときの相談先

・家族・親族の次にケアマネジャーが相談の受皿になっている



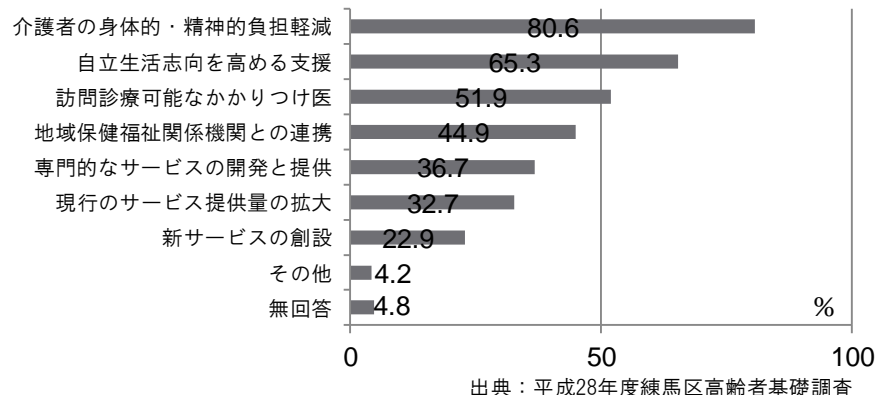
家族介護者の負担や困りごと

・「家を空けることに不安」が4割、「精神的なストレス」が続く
■ 要介護認定者 (n1,775)



要介護者が在宅生活を継続するための必要な条件

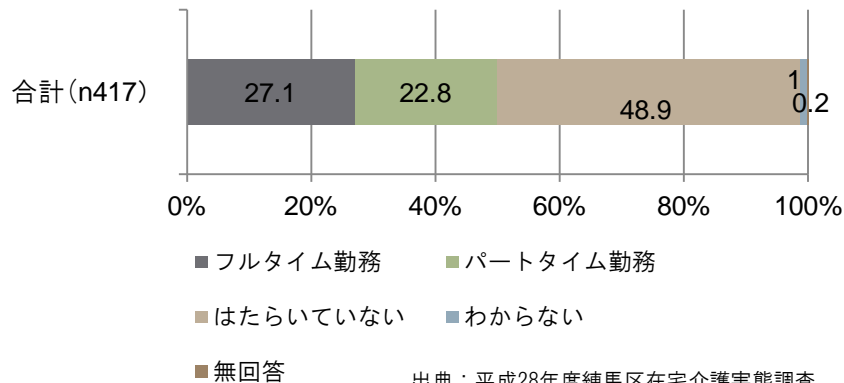
・介護者の負担軽減が8割を超える
■ 介護サービス事業所 (n599)



参考データ

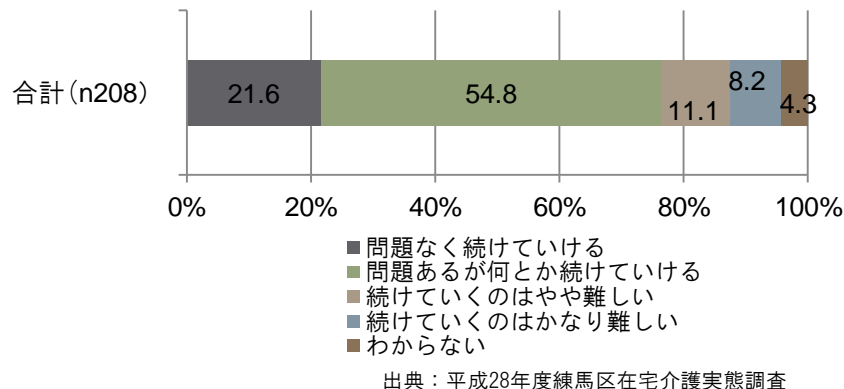
主な介護者の勤務形態

・介護者の5割の方は働いている



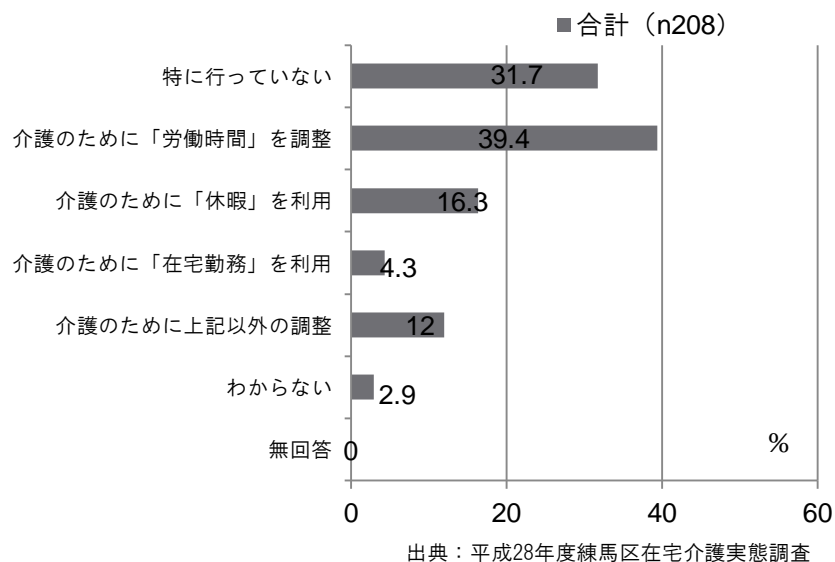
主な介護者の就労継続の可否に係る意識

・5割強の方は問題を抱えながらも就労を続けている



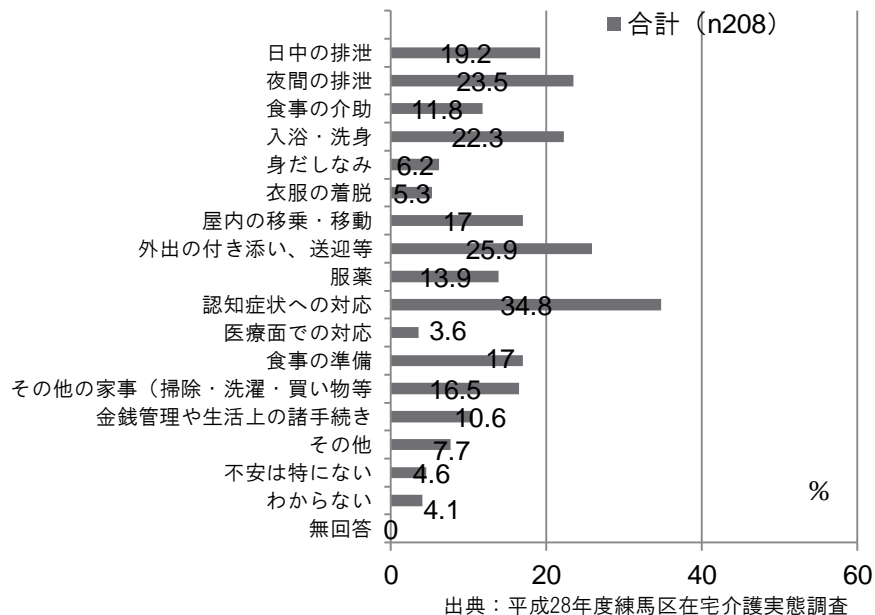
主な介護者の方の働き方の調整状況

・介護のために労働時間を調整している人が約4割



主な介護者が不安に感じる介護

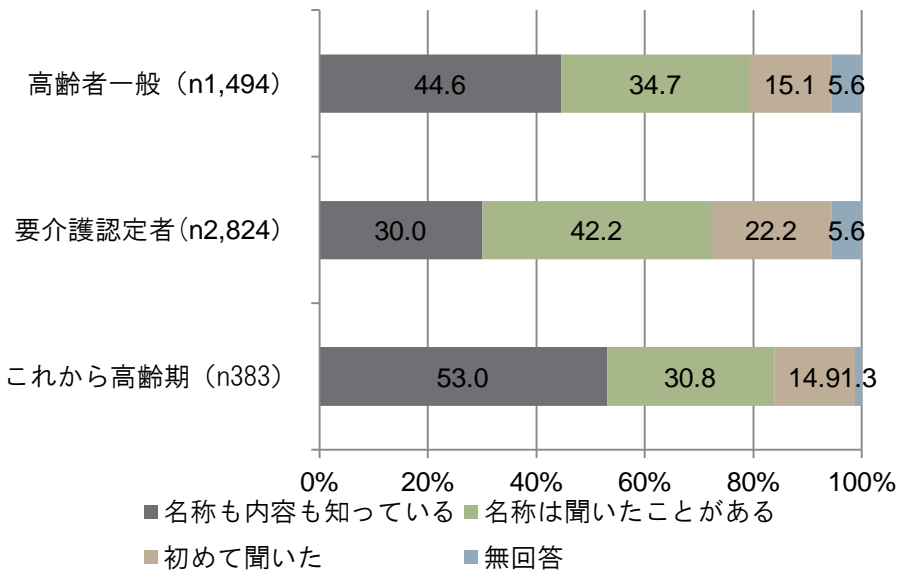
・不安に感じる介護では「認知症状への対応」が3割を超える



参考データ

成年後見制度の認知度

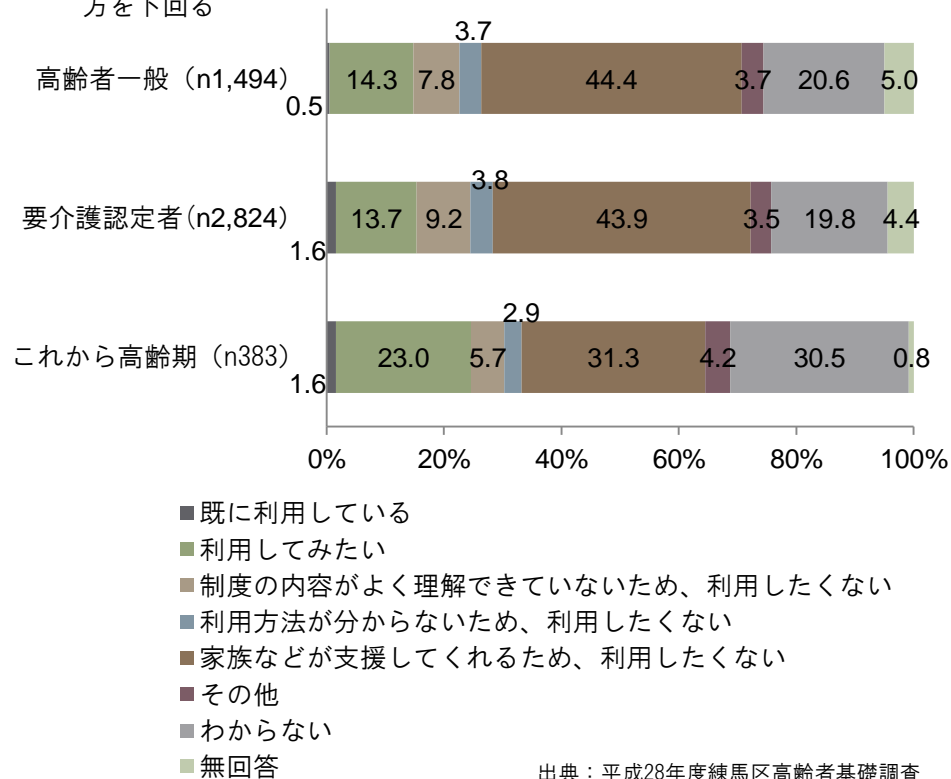
・約8割の方が制度を知っている



出典：平成28年度練馬区高齢者基礎調査

成年後見制度の利用意向

・既に利用している方は少なく、利用したいという方は、利用したくない方を下回る



出典：平成28年度練馬区高齢者基礎調査

取組 7 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくります

(3) ー①区民の自主活動と連携します

介護家族の会や認知症サポーターなどによる「認知症カフェ」を支援してその取組を広げます。

増加するひとり暮らし高齢者が地域で孤立することがないように、区民ボランティアが高齢者の自宅を訪問し、高齢者相談センターの専門相談につなげる仕組みをつくります。

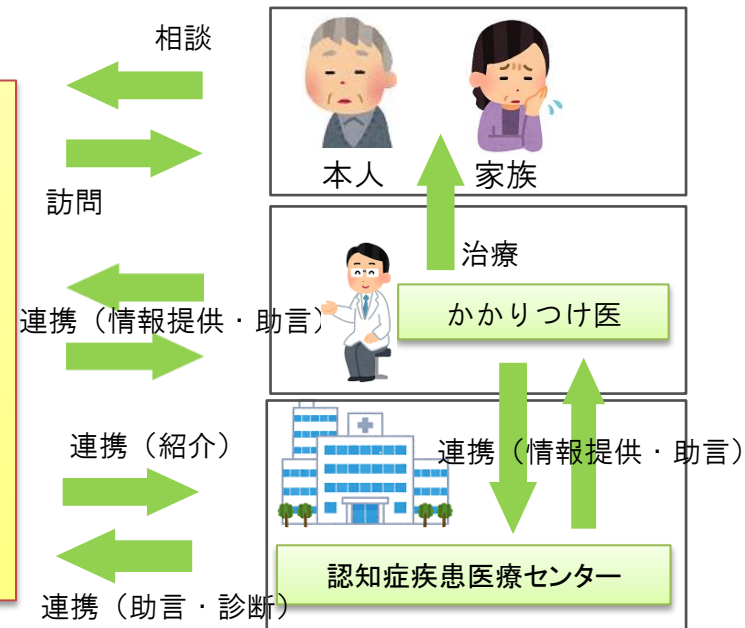
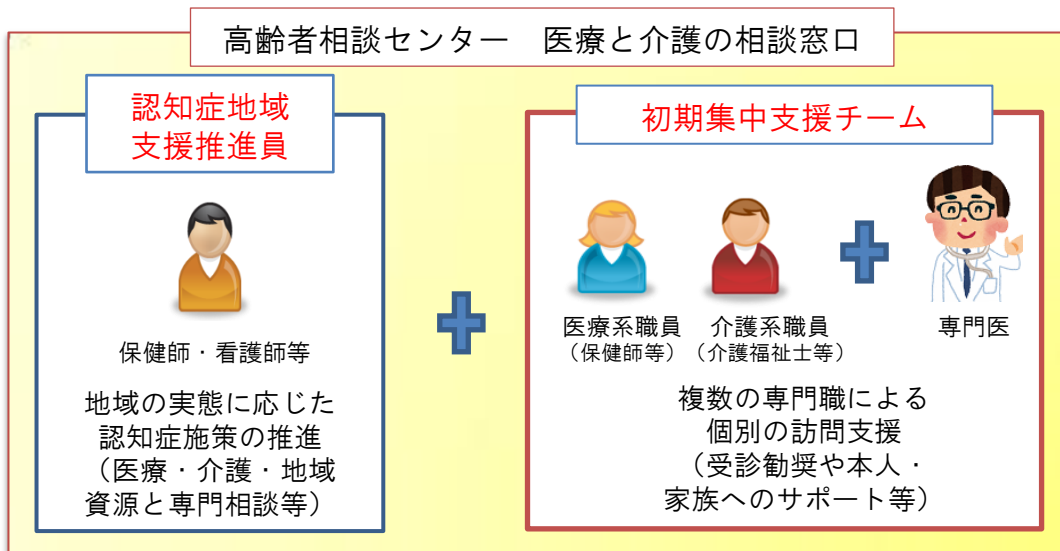
現在の主な取組

事業名	事業概要	平成28年度実績
1 認知症の相談体制の充実と適時・適切な医療・介護等の提供		
在宅療養推進協議会 認知症専門部会	医師、介護サービス事業者、介護家族等と認知症施策推進のための課題抽出や施策を協議	在宅療養推進協議会 2回 認知症専門部会 3回
医療機関との連絡会	医師会認知症専門医や認知症疾患医療センターと認知症施策や医療機関の対応等について情報共有を実施	医師会・区連絡会 1回 認知症疾患医療センター 6回
認知症（もの忘れ）相談事業 認知症初期集中支援チーム	別紙	
医師による認知症基礎講座	早期発見・早期対応の推進を図るため認知症の医学的理解の普及	年4回 参加者 延121名
若年性認知症支援力向上研修	介護サービス事業所などでの若年性認知症の支援力向上を図る講座	年1回 受講者 26名
2 認知症の人が安心して暮らせるやさしい地域づくり		
認知症理解普及講演会等	別紙	
認知症ガイドブック	別紙	
権利擁護事業	社会貢献型後見人の養成研修	研修18回 実習・見学6回 実務研修4回 養成人数4名
	社会貢献型後見人による後見業務の受任	7件受任中 (28年度末時点)
	社会貢献型後見人への後見監督業務	7件 (28年度末時点)
	生活保護受給者等への後見人報酬助成	助成 13件
3 介護者支援の充実		
介護家族の学習・交流会 家族介護者教室、介護電話相談	別紙	
徘徊対策GPS利用料助成	徘徊高齢者の位置情報が確認できるGPS端末の利用料を助成	延453件 実人数56名
4 早期からの認知症予防活動の充実		
認知症予防講演会、講座 予防プログラム、予防推進員	別紙	

現在の取組

認知症（もの忘れ）相談

- 高齢者相談センター本所4か所で年各9回実施
- 区内**認知症専門医**と**認知症地域支援推進員**が認知症への不安や対応について回答
- 必要に応じて**訪問相談**（**認知症初期集中支援チーム**による）を実施
- ケースにより**認知症疾患医療センター**（慈雲堂病院）の助言を得ながら対応
- 認知症の**早期発見・早期対応**と**困難ケースへの支援構築**にあたる
- 平成28年度実績 4所×9回 相談 延98件
訪問相談 延24件



現在の取組

認知症理解普及講演会・ガイドブック

医師が話す認知症基礎講座（4回 参加者 延121名）

- 認知症サポート医による医学講座
- 区内4地区で各1回開催

認知症フォーラム（1回 参加者 61名）

- 介護家族会ネットワーク団体や社会福祉協議会、
認知症疾患医療センター等と共催

- 認知症に関するタイムリーな話題を提供

認知症地域生活講座（2回 参加 76名）

- 地域密着型サービスを利用した認知症の方の地域生活を紹介

若年性認知症講演会（1回 参加者 44名）

- 若年性認知症についての理解普及

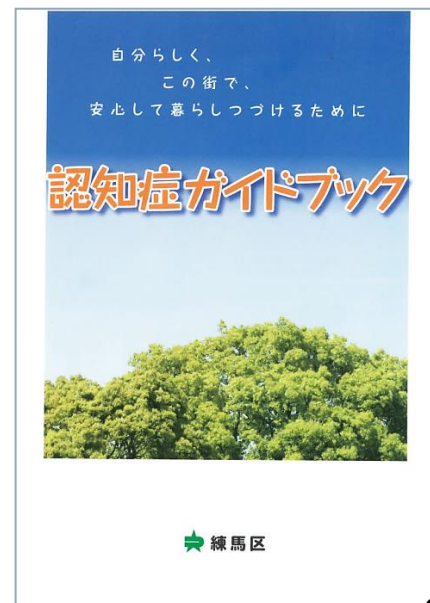
認知症サポーター養成講座（区主催 5回 学校主催 5回 民間主催 92回）

認知症サポーター・ステップアップ講座（3回 参加140名）

- 地域で認知症の方や家族を見守る応援者を養成（平成28年度3,555名養成）
- 累計2万人を超え、一部の方は区の見守り事業等に協力

認知症ガイドブックの発行（33,000部）

- 認知症の気づきから受診や支援の流れを紹介
- 地域団体の学習会でも活用（平成28年度 12団体）



現在の取組

介護者支援事業

介護家族の学習・交流会

- 介護の研究者や経験者から制度やサービスを活用した負担の少ない介護を学ぶ
- 平成28年度4回開催（参加者 延125名）

家族介護者教室

- 身体に負担の少ない介護技術や高齢期の生活に必要な工夫を学ぶ教室
- 平成28年度区内全域で100回開催（参加者 延1,064名）

認知症介護家族による介護なんでも電話相談

- 傾聴スキルを学んだ介護経験者が介護の悩みや不安、ストレスの相談に対応
- 毎週水曜日（年末年始除く）に実施
- 平成28年度 52回 相談134件

介護家族の会・認知症カフェ

- 区内に広がる民間の取組を紹介、利用促進
- 介護家族の会14か所、認知症カフェ15か所



現在の取組

認知症予防

【認知症予防普及啓発】

認知症予防講演会（1回/年）

- 著名な研究者、臨床医による講演会
- 平成28年度「本気の認知症予防」

講師 東京医科歯科大学特任教授 朝田 隆

認知症予防のためのウォーキング講座（2日制 2回/年）

- ウォーキングを習慣化するきっかけづくり

【地域活動支援】

認知症予防プログラム

- パソコン編 週1回 12回制 1教室10人×4教室/年
- 絵本の読み聞かせ編 週1回 17回制 1教室20人×2教室/年
- 修了後は自主活動グループとして継続した認知症予防に取り組んでいる
- 修了者交流会（1回/年）

【認知症予防推進員】（現在87人）

認知症予防を地域に広げる取組を展開

- 主な自主活動
 - 認知症予防ミニ講座 フリフリグッパ―体操
 - ナンバープレイス 区の介護予防普及啓発事業への協力
- 連絡会（1回/年）

